

担当講座	法科学講座 法医学分野	問合せ先	法医学分野
分野責任者	高宮 正隆 教授	連絡先	内線5682
担当教員	森川 剛 助教		
人材育成の 基本理念	法医中毒学などに関する専門的知識を有し、法医中毒鑑定を遂行できる人材の育成する。		
主な研究内容	中毒死等の病態生理、質量分析手技を用いた体内からの薬物検出・薬物定量に関する研究。法医中毒鑑定に結び付く実験が望ましい。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	法医中毒学に関する基礎研究、症例研究を行う能力を身に着けるとともに、自ら研究課題を立案し解決できるようになる。	1, 2, 3, 4, 5, 6	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、法医中毒学実験1～4	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究I・II、法医中毒学実験1～4	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究I・II、法医中毒学実験1～4	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療、法医中毒学実験1～4	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究I・II、法医中毒学実験1～4	
	(6)法医中毒鑑定に必要な手技を習得する。	法医中毒学講義1・2、法医中毒検査修練1・2	
(7)法医中毒学的実験を遂行できる。	法医中毒学実験1～4		
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には必ず事前に相談すること。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる (問合せ先：法医学分野・内線5682)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	1年	講義	法医中毒学講義1	通年	30コマ	4	20単位
		講義	法医中毒学講義2	通年	30コマ	4	
	2年	演習	法医中毒検査修練1	通年	30コマ	4	
		演習	法医中毒検査修練2	通年	30コマ	4	
	1年	実験	法医中毒学実験1	通年	15コマ	1	
		実験	法医中毒学実験2	通年	15コマ	1	
	2年	実験	法医中毒学実験3	通年	15コマ	1	
		実験	法医中毒学実験4	通年	15コマ	1	
特別研究	1年	特別研究I(中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
	2年	特別研究II(論文作成)	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

法医中毒学

コード	MM12111010					MM12111020					MM12111030					MM12111040				
科目	法医中毒学講義 1					法医中毒学講義 2					法医中毒検査修練 1					法医中毒検査修練 2				
科目責任者	高宮正隆					高宮正隆					高宮正隆					高宮正隆				
担当者	森川剛					森川剛					森川剛					森川剛				
会場	法医学分野実習室					法医学分野実習室					法医学分野薬物検査室					法医学分野薬物検査室				
区分等	区分	講義	単位	4		区分	講義	単位	4		区分	演習	単位	4		区分	演習	単位	4	
	回数	通年30コマ		配当年次	1	回数	通年30コマ		配当年次	1	回数	通年30コマ		配当年次	2	回数	通年30コマ		配当年次	2
主な授業内容	基本的な法医中毒学					専門的な法医中毒学					法医中毒検査手技					法医中毒検査手技				
教育成果	専門書により法医中毒学を学び、法医中毒検査に関わる基本的な部分を説明できる。					専門書により法医中毒学を学び、法医中毒検査に関わる専門的な部分を説明できる。					法医学解剖症例を通し、法医中毒検査に必要な手技を習得する。					法医学解剖症例を通し、法医中毒検査に必要な手技を習得する。				
コピレテンス番号/達成度	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5
	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
コピレテンス番号/達成度	コピレテンス6					コピレテンス6					コピレテンス6					コピレテンス6				
	B					A					B					A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 法医学解剖症例の薬物検査を行っている教員が、具体的な症例を提示しながら講義を行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MM12111050					MM12111060					MM12111070					MM12111080				
科目	法医中毒学実験 1					法医中毒学実験 2					法医中毒学実験 3					法医中毒学実験 4				
科目責任者	高宮正隆					高宮正隆					高宮正隆					高宮正隆				
担当者	森川剛					森川剛					森川剛					森川剛				
会場	法医学分野実験室					法医学分野実験室					法医学分野実験室					法医学分野実験室				
区分等	区分	実験	単位	1		区分	実験	単位	1		区分	実験	単位	1		区分	実験	単位	1	
	回数	通年15コマ		配当年次	1	回数	通年15コマ		配当年次	1	回数	通年15コマ		配当年次	2	回数	通年15コマ		配当年次	2
主な授業内容	初歩的な法医中毒学実験手技					基本的な法医中毒学実験手技					専門的な法医中毒学実験手技					専門的な法医中毒学実験手技				
教育成果	試薬の扱いなど、初歩的な法医中毒学実験を遂行できる。					基本的な法医中毒学実験を遂行できる。					質量分析手技等を用いて専門的な法医中毒学実験を遂行できる。					質量分析手技等を用いて専門的な法医中毒学実験を遂行できる。また結果を学会、論文等で適切に提示できる。				
コピレテンス番号/達成度	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5	コピレテンス1	コピレテンス2	コピレテンス3	コピレテンス4	コピレテンス5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
コピレテンス番号/達成度	コピレテンス6					コピレテンス6					コピレテンス6					コピレテンス6				
	C					B					A					A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 法医学解剖の薬物検査を行っている教員と共に実際の検査手法を用いながら実験を行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

コード	MM12119010				MM12119020							
科目	特別研究 I				特別研究 II							
科目責任者	各（正）指導教員				各（正）指導教員							
担当者	各指導教員				各指導教員							
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2				
	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2				
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 							
教育成果	<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。</p>							
コピ ティス 番号/達成度	コピ ティス1 B	コピ ティス2 B	コピ ティス3 B	コピ ティス4 B	コピ ティス5 B	コピ ティス1 A	コピ ティス2 A	コピ ティス3 A	コピ ティス4 A	コピ ティス5 A		
	コピ ティス6 B					コピ ティス6 A						
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。							
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。											
講義日程	時間割参照											
教科書 参考書												

●時間割

法医中毒学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00		法医中毒学講義1・2	法医中毒学実験1~4			
3 限	13:00~14:30		法医中毒検査修練1・2	特別研究I・II			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00		法医中毒学講義1・2	法医中毒学実験1~4			
3 限	13:00~14:30		法医中毒検査修練1・2	特別研究I・II			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						